

コーポレートメンバー 1

岡三リビング株式会社

岡三リビング(株) 小 浪 岳 治

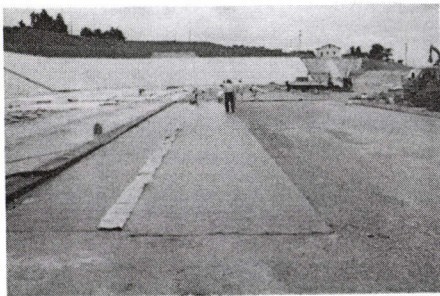
【はじめに】

当社「岡三リビング」はもともとスチール建材の商社として1971年（昭和46年）に設立されました。その後、鉄屋さんからの脱却を目論み IGS 日本支部が設立された1984年からコーポレートメンバーとしてIGSに参加しています。当時としては新しい建設資材である『ジオグリッド』や『EPS』を中心としたジオテキスタイル製品にビジネスチャンスを求めていた時機でありました。ちょうどその頃は、スチール部材を用いた『多数アンカー式補強土壁工法』も自社で開発され、現在の柱となる事業基盤も築かれつつありました。当社では、これらの土木資材を販売するのみでなく、設計の支援や施工上のノウハウを提供することを心掛けて、新工法・新材料の普及に傾注してまいりました。その後、高強度ジオシンセティック『パラリンク』を用いた軟弱地盤対策工や、遮水材としてGCL『ローマット HDB』などの海外技術を国内に導入してまいりました。

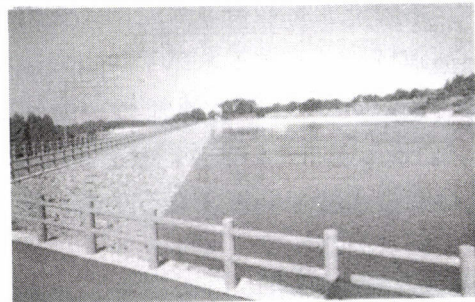
ここでは当社が取り組んだジオシンセティックスに関する事例とともに、主力となっている事業について紹介させていただきます。

【ローマットHDB】

ナトリウムベントナイトを工場で1次膨潤させ高密度にしたものを、織布および不織布に挟み込んでマットにした製品で、国内ではため池の遮水材として用いられています。



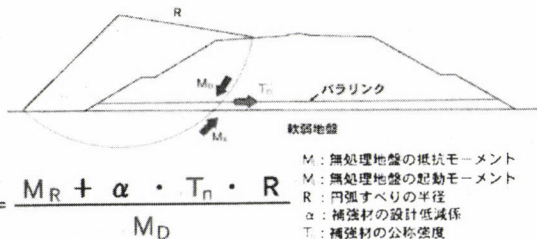
ローマットの敷設状況



ため池完成状況

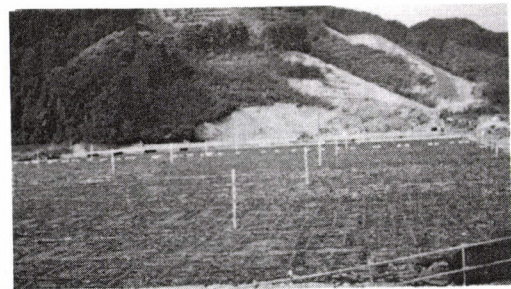
【高強度ジオシンセティックス：パラリンク】

軟弱地盤対策工として盛土底部に敷設する補強材です。長期耐久性にも優れるため、地盤改良杭上の不同沈下防止効果も期待できます。



$$F_s = \frac{M_R + \alpha \cdot T_n \cdot R}{M_D}$$

軟弱地盤対策工の補強概念



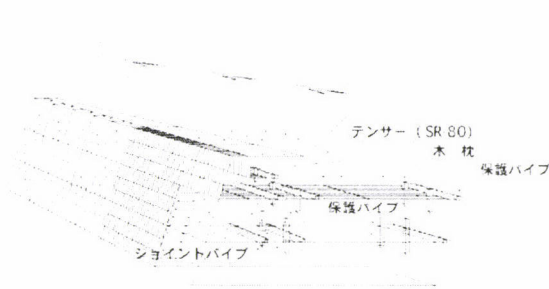
パラリンクの敷設状況

【ジオグリッド】

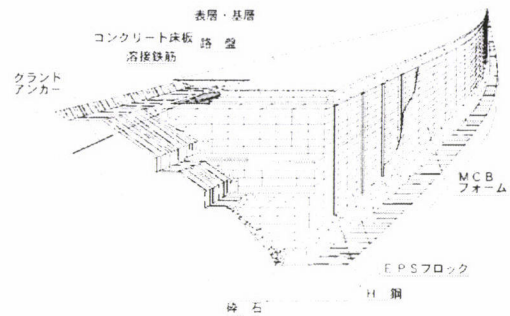
ジオグリッド補強材料を使用して、補強土壁、補強盛土が構築できます。コストダウンと安定性の追求とともに、新しい構造形式も開発されつつあります。

【EPS】

発泡スチロールを使用した超軽量盛土工法です。軽量性、施工性に優れており、軟弱地盤上や地すべり地での盛土に適用できます。現在、合理的な壁面工の開発に取り組んでいます。



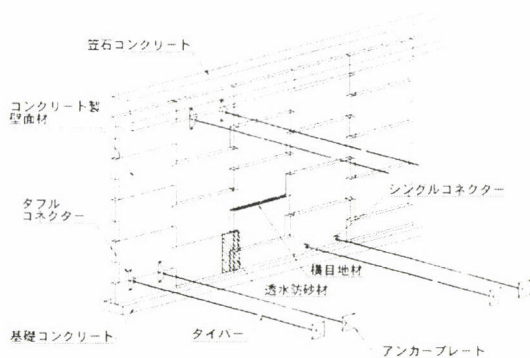
ジオグリッド補強土壁概要



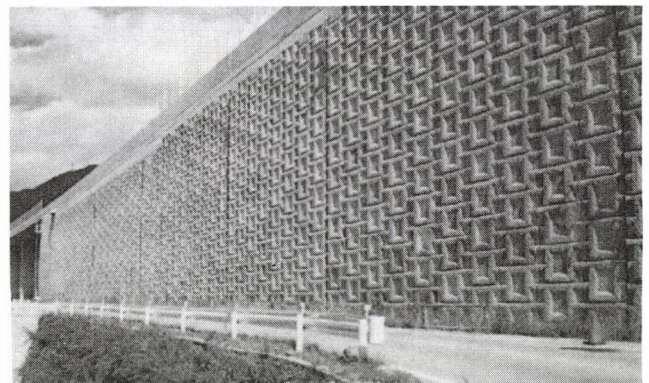
EPS 工法概要

【多数アンカー式補強土壁】

前壁に作用する土圧をアンカープレートの引抜き抵抗力で盛土の安定を保つ補強土壁工法です。現地発生土の有効利用が可能であり、耐震性に優れた補強土壁を構築できます。



多数アンカー式補強土壁事例



多数アンカー式補強土壁概要

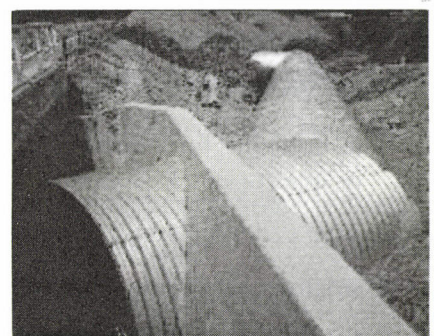
【コルゲートパイプ・ライナープレート】

当社創業の原点となった商品群です。コルゲートパイプは水路や骨材ビンとして適用され、ライナープレートは擁壁、深礎工法用立抗、集水井等に幅広く適用されています。

【おわりに】

岡三リビックの“LIVIC”とは、“CIVIL”を逆さ読みしたもので、“LIVIC（公共を支える企業）”という、私どもの社会的使命を表したものです。それは、Leading Innovator for Value-added Infrastructure and Creativity（価値あるインフラ整備と創造性の旗手）の頭文字でもあります。わ

たしたちは、今後も人々のより豊かな生活のためのインフラ整備を、想像力豊かに、そして、ハード・ソフトの両面から提案し支える企業でありたいと考えています。



コルゲートパイプ事例